

梨の肥大調査 8カ所を巡回

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢梨部会は7月上旬の2日間、伊勢市と玉城町で梨の肥大調査を行った。本年度産は、



果実の直径を測定するJA担当者

例年に比べて開花は遅れたが、生育は順調に推移している。

同JAと県中央農業改良普及センターの担当者が、町内8カ所の梨園地を回り、ノギスを使って果実の直径を測定した。同JA担当者は「順調に肥大が進んでいる。好天が続けば、糖度は高くなる。」

7月下旬に始まる収穫に向けて、引き続き管理を続けてほしい」と話す。

同JA管内では、部会員19人が約6畝で梨を栽培している。